



(1,500円)

実用新案登録願 (2)

昭和46年5月7日

特許庁長官 佐々木 學 殿

1. 考案の名称 折込おむつ

2. 考案者

住所

大阪市東区玉堀町577番地

氏名

滝沢 進 三

3. 実用新案登録出願人

住所

大阪市東区玉堀町543番地

氏名

山下 仁 丹 株式会社

名称

代表者 山下 仁

(国籍)

4. 代理人 〒550

住所

大阪市西区京町堀2丁目35番地

氏名

天眞ビル 706号室

電話 大阪(06) 441-3720番

代理人 山本 泰一

5. 添付書類の目録

- | | | | |
|-----|----------|---|---|
| (1) | 明細書 | 1 | 通 |
| (2) | 図面 | 1 | 通 |
| (3) | 委任状 | 1 | 通 |
| (4) | 願書副本 | 1 | 通 |
| (5) | 出願書査閲請求書 | 1 | 通 |

47-36734-01

46-036175

方式
審査



BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称 折込みおむつ

2. 実用新案登録請求の範囲

1枚の矩形状帯片(1)よりなる本体片をその両長辺(a)(a)の略中点(b)を結ぶ線(2)で二つ折りし、次に前記長辺(a)(a)の略中点(b)を結ぶ線(2)の midpoint (c)を頂点とし、各長辺(a)の略中点(b)を中央として長辺(a)上で長辺(a)の長さの略 $\frac{1}{2} \sim \frac{2}{3}$ の長さの辺(AB)を底辺とする三角形状片を前記本体片(1)の内方に折り込み、次に前記の midpoint (c)と前記中央線(2)の midpoint (d)との略中間点(e)を頂点とし、前記辺(AB)を底辺とする三角形状片を前記三角形状片より外方に折り返して形成したことを特徴とする折込みおむつ。

3. 考案の詳細な説明

本考案は矩形状本体片より折込み形成された尿の横洩れの少ない、かつ日本人特有の股に股の恐れのない折込みおむつに関する。

従来、使用されているおむつは矩形状本体片をそのまゝ股部に当てるものが多く、そのためおむつの横巾が大きく歩行の際腰々邪魔になり、これ

が原因となつて日本人には所謂がに股が多く見られる。又従来のおむつは臀部からの尿の横洩れに対しては殆んど無考慮に等しい有様である。

本考案は上述の如き事実に着目し、種々研究の結果工夫されたものであり、特に、枚の矩形状帯片よりなる本体片を基礎とし、これを特殊な態様に折込み形成することによつておむつ横巾を小さくし、かつ側方への尿横洩れ防止部を形成せる構成を特徴とするものである。

以下、更に添附図面を参照しつつ本考案の内容を詳述すると、図において(1)はおむつ本体をなす矩形状帯片であり、紙、不織布、布あるいは紙、水溶性フィルム、吸水性紙綿、吸水性纖維素ウエブの如き材料よりなる水溶性基材が使用される。そしてこの矩形状帯片(1)にはその両長辺(a)(a)の略中点(d)を結ぶ線(2)、各長辺(a)の前記略中点(d)を中央点として長辺(a)の略 $\frac{1}{2} \sim \frac{2}{3}$ の長さの辺 $\overline{A-B}$ を底辺とし、前記略中点(d)を結ぶ線(2)の midpoint (o) を頂点とする三角形の両辺(3)(3')ならびに前記長辺(a)の略 $\frac{1}{2} \sim \frac{2}{3}$ の長さを底辺とし、前記各中点(d)と前記三角

字牌入

形状の頂点(0)との略中間点(4)を頂点とする三角形の両辺(4)(4)に夫々折線が形成され、次の如き折込みが施される。即ち、先ずP-P線を折線として矩形状帯片(1)を2つに折り、次に左右の各O-P線を折線として左右の $\triangle AOB$ を本体帯片(1)内方に折り込み、次に各P-Q線を折線として左右の $\triangle AQB$ を前記の折り込んでなる $\triangle AOB$ 部分より外方に折り返す。かくして得られたおむつの態様は第2図、第3図に図示された如きものとなる。従つて、今上記の如き態様にて折り込まれたおむつを第4図に図示するようにして股部に当て使用するとき、折線のO-Q線が横巾を減少させると共に尿の横流れ防止用の障壁を形成し、おむつ中心下部に貯溜する尿の側方への流れを防止する。

なお、図中(5)は左右の両長辺(4)の midpoint (中点) を結ぶ線(2)を折線として帯片(1)を二つに折つたとき、その前後片を固着するための固着テープであり、粘着テープが好適材料である。しかし勿論他の固着具を使用しても差支えない。

本考案は以上のように1枚の矩形状帯片を基本

とし、その両長辺側を適宜折り込むことによつて形成したものであるから構成は頗る簡単でかつコストも廉価であるが折皺のO-Q線によつて尿の横洩れは完全に阻止され、従来のおむつに見られる如き尿の横洩れによる皮膚荒れが起ることはなく、しかもP-Q線による外方への折り込みにより、股部に当たる部分はその折り込み部が緊密に皮膚と接触して股ずれを起す懸念も少なく、極めて健康的である。又、本考案おむつは第2図より明らかなようにおむつの横巾が極めて小さくなり、これを股に当てた場合にも歩行は楽であり、股を開く必要がないため所開がに股になる恐れはなくなり、姿態の改轉に効果を奏する。

なお、本考案おむつを吸水性材料で作成すれば横洩れ防止のみならず、おむつ取替えの間の尿保持に便利である。

4 図面の簡単な説明

第1図は本考案おむつの展開平面図、第2図は本考案おむつの正面図、第3図は第2図におけるおむつを稍拡開し、折り込み状態を下方より見た

内面図、第々図は使用状態図である。

(1) 矩形状荷片、(2) 長辺の略中点を結ぶ線、(3) (3)' $\triangle A O B$ の二辺、(4) (4)' $\triangle A Q B$ の二辺、(5) 固着具、(a) 本体片の長辺、(b) 本体片の短辺、(c) 長辺の略中点、(d) 長辺の略中点を結ぶ線の中点、(e) $\triangle A Q B$ の頂点、(A) (B) $\triangle A Q B$ 及び $\triangle A O B$ の底辺をなす本体片長辺上の点。

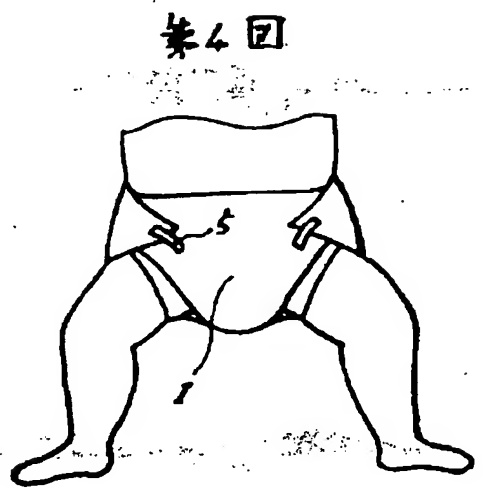
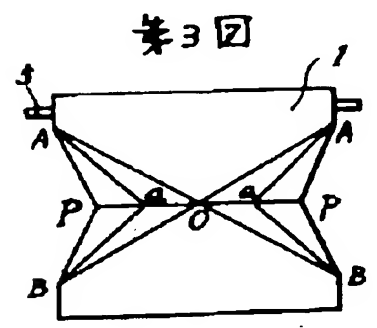
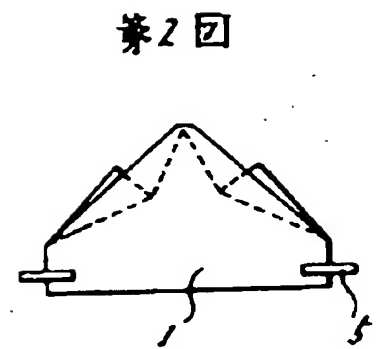
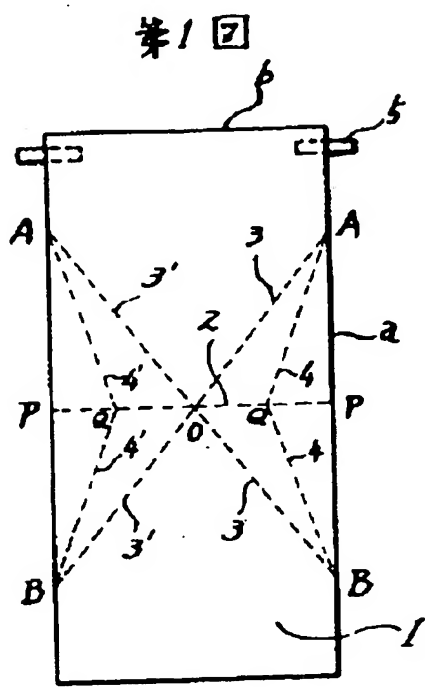
実用新案登録出願人

森下仁丹株式会社

代理人

宮 本 泰 一

TEST AVAILABLE COPY



BEST AVAILABLE COPY

實用新案登録土題人
代理人

森下仁丹株式會社
宮不暴一
47-36734-07